

年間教授計画 2024年度 (4月～2月)

科目	対象	担当	教科書	授業数	年間授業時間
子どもの発達心理	クラス: 2年G組 学科: 医療事務科 コース: 小児クラークコース	堺 数太	子どもの発達と保育 自作プリント	2 時間/週	60 時間

授業概要	幼児期全般にわたる心身の発達を学び、生活習慣の確立や健康管理、安全、食育など多岐にわたる幼児期に必要な内容を具体的な事例をもとに学ぶ。
最終到達目標	乳幼児の保育全般について体系的に理解し、医療現場における応用方法を身につける。また、保育の現状を知り自分なりの課題意識をもつ。

月	週	単元	内容および授業方法				
前期 (4月～9月)	1	○子どもの発達の特性	○発達の特性と環境(講義・グループディスカッション・発表) ・発達とは ・乳幼児期の特徴 ・保育環境の関わり				
	2						
	3	○子どもの発達過程	○子どもの発育(講義・グループディスカッション・発表) ・胎児の発育・発達 ・乳幼児の身体的特徴				
	4						
	5		・乳幼児の生理的特徴				
	6	○子どもの精神発達	○子どもの精神発達(講義・グループディスカッション・発表) ・運動機能と感覚機能の発達 ・知的発達・言葉の発達 ・情緒の発達				
	7						
	8		○人間関係の形成(講義・グループディスカッション・発表) ・愛着関係の形成・人間関係 ・子どもの人格形成				
	9						
	10	○子どもの生活	○生活と養護(講義・グループディスカッション・発表) ・生活と健康・栄養と食事 ・衣生活と育児用品				
	11		○子どもの遊び(講義・グループディスカッション・発表) ・生活と遊びの援助				
	12	○子どもの生活	○生活習慣の形成(講義・グループディスカッション・発表)				
	13		・生活習慣の意義				
	14		・基本的生活習慣				
	15		・社会的生活習慣				
後期 (10月～2月)	1	○子どもの生活	○健康管理と事故防止(講義・グループディスカッション・発表) ・日常の健康管理 ・病気の看病と予防				
	2						
	3		・事故の防止				
	4		・応急処置				
	5	○子どもの保育	○保育の意義と重要性(講義・グループディスカッション・発表)				
	6		・人間形成と保育				
	7		・家庭保育				
	8		・集団保育				
	9	○子どもの保育	○保育の方法(講義・グループディスカッション・発表) ・保育者の役割 ・指導のポイント				
	10						
	11	○子どもの福祉	○児童福祉の理念(講義・グループディスカッション・発表) ・児童福祉の理念と現状				
	12		○児童福祉に関する法律(講義・グループディスカッション・発表) ・児童福祉六法他				
	13	○子育て支援	○社会的支援の重要性(講義・グループディスカッション・発表) ・子育て家庭の現状と課題				
	14		○児童虐待とその防止(講義・グループディスカッション・発表) ・児童虐待の要因と対応				
	15		○これからの子育て支援(講義・グループディスカッション・発表) ・後期のまとめ				
成績 評価 方法	項目 ※1	授業内試験	小テスト	課題内容	出欠状況	授業態度	その他(グループディスカッション)
	割合	前期	30%	50%			20%
		後期	30%	50%			20%
備考 ※2							

※1 授業内試験:期間内の総まとめの試験/小テスト:単元ごとのテスト等/課題内容:課題提出および課題の出来具合
その他:()に具体的内容を記載。(例)外部実習評価

※2 備考については、資格取得に対する加点、学習に当たっての留意事項等、上記以外の項目に記載すべきものがある場合に記入。